幅広い企画で期待

ギフトショー大阪

韓国パビリオンが登場

第64回「大阪インターナショナル・ギフト・ショー」は、9月15、16日に大阪・天満橋のOMMビル2階展示場で開催、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を徹底しながら会場を構成し、2日間で延べ1万1千人の来場を見込んだ。

今回は近年では最高となる165社が出展し、「おしゃれ雑貨&ビューティフェア」、「インテリア雑貨フェア」、「ファンシー&ホビーフェア／人と地球にやさしいサステナブル展」などをメインに会場を構成したほか、個人で活躍する作り手の個性が溢れる商品を集めた「ギフトマルシェ」、デザイン性の高い商品を集めた「ACTIVE CREATORS」、関西でこだわりをもって作られた商品を集めた「関西e―mon展」など、それぞれのジャンルに合わせた商品群でアピールした。

また、「アウトドア」と「サウナ」商品を集めた企画や、「端材・廃材」のビジネスマッチングなど、幅広い企画で来場の期待に応えた。

さらに高知県、佐賀県、和歌山県、兵庫県などの地方自治体からも出展、それぞれの逸品をアピール。また、久しぶりに韓国がパビリオンを構成し、12社からオフィスチェア、陶磁器などのインテリア商品、食品、服飾雑貨、キャンプ用品などを紹介した。

新製品コンテストの結果は次の通り。

【グランプリ】ORANGE FACE　焚き火台（松下工作所）。

【新製品コンテスト】大賞＝BAKECO（鋼板商事）。準大賞＝鉄の一輪挿し「鉄一凛」Lサイズ。

【販促品コンテスト】大賞＝森永絹とうふ（森永乳業）。準大賞＝ポケット「お守り」干支含め全36種（サンオー縁起物ふくふく亭）。

【特別賞】CRESTAR ペーパーDストッカー（ケアスター）、竹塩リペアマスク（K―LAVA SALT（INSANGA）。

注目集めた韓国パビリオン

インテックス大阪で第3回ライフスタイル関西

9月28～30日開催

RX Japan株式会社（田中岳志社長、東京都）は、9月28日～30日まで、大阪・南港のインテックス大阪で、雑貨・文具・ファッション・美容・インテリア・食器、食品ギフトの商談展「第3回ライフスタイルWeek【関西】」を開催する。

同展は、ファッション雑貨、ヘルス&ビューティグッズ、テーブル&キッチンウェア、サステナブルグッズ、Good Foodsの6つの専門展で構成された総合展示会で、約300社が出展。生活雑貨からインテリア、ギフトまで幅広い製品が仕入れられる。アウトドア、サステナブル、おうち時間などの話題の製品も多数出展。

文具・事務用品関連では、大栗紙工（まほらノート）、コトブキ工芸（すみっコぐらしパッチンマルチホルダー）、竹野（バタフライアルバム）、ファインギヤー（アメリカ製グリーティングカード）、日本出版販売（スケルトンの万年筆）などが出展する。

会期中は併催セミナーを多彩なプログラムで開催。初日に東急ハンズ商品戦略部チーフバイヤー・佐藤宏樹氏が「東急ハンズ名物バイヤーが考える、雑貨ファンをつくるムーブメント」と題して講演。

優秀作品へのノミネート36点発表

キッズデザイン賞

キッズデザイン協議会は、第16回キッズデザイン賞受賞商品作品214点の中から選ばれた優秀作品へのノミネート36点を発表した。

9月28日に六本木ヒルズ49階「アカデミーヒルズ49」で表彰式を開催する。

「日本の秋」表現した漆芸品

○…パイロット

株式会社パイロットコーポレーション（伊藤秀社長、東京都）は、同社1階エントランスギャラリーで「日本の秋」を表現した漆芸品を展示している。

大正時代から続けられているパイロット伝統の「蜻蛉（せいれい）塗り」で仕上げた万年筆やシガレットケースをはじめ、日本の秋を感じられる作品41点を展示している。蒔絵の世界で表現された「日本の秋」を楽しんでほしいという。

期間は、2023年1月31日まで（土日祝日・年末年始は、休業日）。平日9時～午後5時半。見学は無料。

1月1日より一部商品を平均15％値上げ

○…シヤチハタ

シヤチハタ株式会（舟橋正剛社長、名古屋市）は、来年1月1日受注分より一部商品の価格改定を実施する。価格改定率は平均約15％増（部品を除く）。

価格改定について同社では「原材料並びに物流費の高騰が続く中、経費削減や業務改善などの効率化を進めることで、顧客への価格転嫁を極力避けるよう最大限努力してきたが、企業努力のみでは現状の価格での販売が困難な状況になってきた」ことが要因としている。

対象商品は、ネーム印関連（ネーム6、ネーム9、キャップレスシリーズなど）。データネーム関連（データネームEX、データネーム13号～3555号など）。Xスタンパー関連の一部（簿記スタンパー、ビジネス用G型、丸型印9号など）。これら商品の部品。事務用品（印マット、デスクマットなど）。ファーバーカステル関連（色鉛筆、水彩色鉛筆、鉛筆削り）。スタンプラリー。記念スタンプ関連。

卸連役員

日本文紙事務器卸業連盟は、8月26日に開催した第64回通常総会で役員改選を行い、松本会長より理事及び監事の一部変更により、選任次第改めて知らせすると発表したが、その後、新執行部承認のもと理事2名、監事1名を変更し選任した。新役員は次の通り。

会長　蔀聡志（エムティーエス）東京

副会長　速水誠（北海道クラウン）北海道、青山英生（青雲クラウン）愛知、松本圭司（アケボノクラウン）大阪、石田信正（フォーデック）広島、藤井章生（レイメイ藤井）福岡

会計理事　原田和樹（東京クラウン）東京、西村友秀（銀鳥産業）愛知

理事　杉山一徳（東京エコール）東京、村田和俊（新・エコーマインド）大阪、横山滋也（新・紀寺商事）大阪、渡部義仁（太陽堂）岡山、板山卓司（板山商事）鹿児島

専務理事　斉藤仁（事務局）東京

監事　平出晴久（新・ゴールデン文具）神奈川

キングジム

M&Aさらに加速

宮本社長　決算説明動画を公開

動画で決算報告する宮本社長

株式会社キングジムは、8月25日、宮本彰社長が説明する2022年6月期（第74期）の決算説明動画を公開した。

第74期連結業績は、売上高は前年に対して0・9％増加したが、営業利益、経常利益、当期純利益は前年に対して50％超の減となった。

文具事務用品事業は、半導体不足に伴う「テプラ」の品切れや生産国のロックダウンによるファイルの品切れを受けて減収、営業利益は急激な円安や原材料価格・物流費の高騰により減益となった。

インテリアライフ事業は、前期好調のぼん家具の反動減はあったものの、キッチン家電のラドンナと造花のアスカ商会は増収となったことに加え、グループ入りした生活雑貨のライフオンプロダクツの半期分の売上寄与を受けて増収。営業利益は急激な円安や仕入価格の上昇、ライフオンプロダクツ株式取得費用の計上などにより減益となった。

減益の要因は、①半導体不足による影響②生産工場のあるベトナム・マレーシアにおける新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響③巣ごもり需要の反動④為替・原材料の高騰による影響など。

今後の見通しについて、①の半導体不足による影響は、一部商品は半導体不足の影響は徐々に改善、引き続き、対応策を模索するとともに、半導体市場の動向を注視。②の新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響は、現在、ロックダウンは解除され影響なし。生産・在庫状況も正常化。③の巣ごもり需要の反動は、ネットでの家具販売を行うぼん家具は下半期の売上は前期を上回り、成長軌道。収納用品を中心に売上が好調。ラドンナは主力のキッチン家電が引き続き好調。販路拡大により売上が伸長。④の為替・原材料の高騰による影響については、価格改定の浸透を図り、収益性の改善を目指す。

このうち、④の為替・原材料の高騰の影響は大きく、「1円の円安になると、利益は6千万円減る、厳しい状況。円安への対応は後追いになる」と為替変動への対応の難しさを強調。

2023年6月期（第75期）業績予想は、2021年11月にグループ入りしたライフオンプロダクツが次期から業績に通年寄与することから、売り上げは400億円を突破し、創業以来の過去最高売り上げとなる見込み。

2024年を最終年度とする第10次中期経営計画は、売上高480億円、経常利益34億円を設定して、ファイル依存からの脱却を目指す。事業領域の拡大への具体策として、①新しい働き方・暮らし方に向けた商品の開発②紙収納からモノ収納へ。雑貨や家庭用品の拡充③M&Aによりグループとして発展、を挙げた。

宮本社長は「ファイル専門メーカーから脱却し、テプラ、インテリアライフスタイル事業を強化する。主力のファイルはペーパーレス化がテレワークで加速し、ピーク時の4割減。新しい事業領域の拡大を図り、M&Aをさらに加速させていく」と話した。

生活雑貨販売会社を子会社化

また、9月15日開催の取締役会で、キッチン用品・生活雑貨などの各種商品の企画、製造、販売などを手がける株式会社エイチアイエム（千葉県習志野市）の全株式を取得し、子会社化することを決議した。

キングジムグループは、2024年6月期を最終年度とする3カ年の第10次中期経営計画において事業領域の拡大を戦略の中心に掲げ、成長分野への注力を進めている。

エイチアイエム社は、キッチン用品や生活雑貨など、今の生活を一歩便利にする商品を企画し、「ラチュナ」のブランドで、インターネット上で販売を行っている。直近売上高（22年6月期）は10億9900万円。

設立から著しい成長を続けている同社をグループに迎え入れることでEC事業をさらに強化し、飛躍的な拡大を実現するとともに、商品ラインアップを広げ、グループ会社とのクロスセルにより売上の拡大を図る。

株式譲渡日は9月22日。新社長にはEC事業部長の杉崎誠氏が就任する。

キャリーキャンパス

10万ダウンロード突破記念

コクヨがキャンペーン

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、スマートフォンのカメラでノートを撮影し、データ化した内容を自由に編集、管理できる勉強アプリ「Carry Campus（キャリーキャンパス）」の10万ダウンロード突破を記念して、10月31日までキャンペーン第2弾を実施している。

キャンペーン第2弾では、「キャリーキャンパス」のアプリ内で、プログラミング学習サービス「easel AP」をアプリの利用者全員に無料提供する。通常は有料会員向け（一部機能は無料）として提供される120以上のプログラムを、キャンペーン期間内に限り全て無料で利用できる。

「easel AP」は、プログラミングの学習に〝アート（創造性）〟の要素を取り入れた、これまでにない新しい教育ソフト。イメージやアニメーション、インタラクションなど視覚的な表現の制作を通して、初心者でも楽しみながらプログラミングを学ぶことができる。豊富な作品サンプルをその場で編集しながら変化を見ることにより、〝頭脳〟ではなく〝体感〟として、プログラミングを学習することができるため、〝感性（センス）〟と〝論理（ロジック）〟を共に高め、学ぶ人の創造性を引き上げることが大きな特徴。

監修は、アーティストとしても活動する慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス環境情報学部の脇田玲教授が担当。

Keptと天才糖がコラボ

○…レイメイ藤井

株式会社レイメイ藤井（藤井章生社長、東京都）の人気ペンケースブランド「Kept」と、食品メーカーのカンロ株式会社の新商品「天才糖」によるSNSコラボキャンペーン（9月13日～16日）が実施され人気を集めた。

同キャンペーンは、カンロの勉強する人のためのキャンディ「天才糖」の9月28日発売に伴い実施された。内容は、ツイッターで「カンロPR公式（@kanro_pr）」をフォローして応募すると、抽選でKeptブランドの文房具と天才糖が当たる。

「天才糖」は勉強するためのキャンディとして誕生。形は「えんぴつ型」で、学力向上や受験合格願掛けにちなんだ「さくらんぼ」「いよかん」「ジンジャエール」の3種の味入り。さらに原材料の砂糖は全て「てんさい糖」を使用していることから、商品名を「天才糖」と名付けた。

パッケージは「Kept」ペンケースで、カラーはコラボ限定カラーのカンロオレンジで展開している。メッセージ欄が書き込めるお守り型タグ付き。